

NPO 法人岡崎がくどうの会

## 放課後児童支援員都道府県認定資格研修レポート

科目①『放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容』

科目⑨『子どもの遊びの理解と支援』

科目②『放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護』

科目⑩『障害のある子どもの育成支援』

科目③『子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ』

科目⑪『保護者との連携・協力と相談支援』

科目④『子どもの発達理解』

科目⑫『学校・地域との連携』

科目⑤『児童期（6歳～12歳）の生活と発達』

科目⑬『子どもの生活面における対応』

科目⑥『障害のある子どもの理解』

科目⑭『安全対策・緊急時対応』

科目⑦『特に配慮を必要とする子どもの理解』

科目⑮『放課後児童支援員の仕事内容』

科目⑧『放課後児童クラブに通う子どもの育成支援』

科目⑯『放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守』

【クラブ】（ 風の子クラブ ） 【名前】（ 東 和江 ）

全16回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

学童保育の基本的な事から専門的な事まで学べ、有意義な時間となりました。

今まで自分の対応は良かったのか…自信なく過ごした時期もありましたが研修を受けた後は数々の保育場面が浮かび、あの時の声掛けでよかったのか、他にどんな行動が出来ただろうか、などを振り返っては考える日々でした。

自信を持てた日も、そんな対応もあるのかと発見した日も、次はこんな事を学んでみたい、と次々と思え日々の保育や全国研での受講科目選択にも生かそうと思いましたが、自分の強みとなるものは何かあるだろうか、考えて意識することは多岐にわたると思いました。

心に残ったのは、第6講「しょうがいとある子どもの理解」と第10講「しょうがいとある子どもの育成理解」でした。

多様な感覚と他者より頑張っているために疲れる事が多いなど、理解した上での対応や気持ちを受け止められる存在でありたいです。そして実例にあった子どもの「怒られてばかり、つらかった」という言葉が忘れられない。

実践でもパニックを起こした子どもに対して保育園の時から過ごしている子ども達の方が切り替え方を心得ている時もある。せっかく異年齢で多様な集団で過ごす機会があるので学童保育だからできる幅広い関わり合いをこれからも意識していこうと思います。

人の気持ちはわからないが理解しようとする事はできる。子ども達から学ぶ事も、教えてもらう事も多い。自分の考え方や感情などを挟む事なく、子ども自身の声を教えてもらえるように、信頼関係を築いていくことを大切にしたい。